令和6年

奥州市教育委員会会議録

第1回定例会 1月29日招集

奥州市教育委員会

1 開会、閉会等に関する事項

開催日時 開会 令和6年1月29日(月)午後2時30分

閉会 令和6年1月29日(月)午後3時35分

開催場所 江刺総合支所4階特別会議室

2 出席委員当の氏名

	高 橋	勝	教育長
1 番	吉 田	政	委員 (教育長職務代理者)
2 番	高 橋	キエ	委員
3 番	松 本	崇	委員
4 番	菊 地	幸	委員

3 説明のため出席した職員の職及び氏名

佐藤浩光教育部長、松戸昭彦教育総務課長、吉田博昭学校教育課長、菊池長学校教育課主幹、小野寺正行歴史遺産課長、千葉学協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長

事務職員出席者 千田俊輔教育総務課長補佐

4 本日の会議に付した事件 (議事日程第1号)

第1 会期の決定

第2 教育長報告

(1) 生徒指導について

(2) 令和6年度学校給食費改定及び改定に伴う保護者負担増額分の対応について

第3 議案第1号 奥州市適応指導教室指導員設置規則の一部改正について

第4 議案第2号 令和5年度奥州市教育委員会表彰被表彰者について

第5 協議事項 令和6年度教育行政方針(案)について

5 会議の概要

開会、会議成立宣言、本日の会議日程について「議事日程第1号」により進めることを宣言、秘密会とする議決(教育長報告「生徒指導について」「議案第2号」)、秘密会とした教育長報告「生徒指導について」は、学校ごと又は児童生徒の個々の状況に関わらない部分のみ、「議案第2号」については審議の結果のみを公表することの議決、議案の審議

第1 会期の決定について

本日1日と決定

第2 教育長報告

- (1) 生徒指導について
詳細について、吉田学校教育課長が資料に基づき説明
-

- (2) 令和6年度学校給食費改定及び改定に伴う保護者負担増額分の対応について
菊池学校教育課主幹が資料に基づき説明

【要旨】

- ・ 令和6年度学校給食費改定及び改定に伴う保護者負担増額分の対応について、令和6年1月11日付け市長決裁で決定したことから、その内容を報告するもの。

【質疑等】

なし

以上で教育長報告を終わる。

第3 議案第1号 奥州市適応指導教室指導員設置規則の一部改正について

松戸教育総務課長が議案を朗読、佐藤教育部長が提案理由を説明し、吉田学校教育課長が補足説明を行った。

【提案理由】

- ・ 本議案は、不登校児童生徒の支援を行う指導員の名称及び職務の内容を改めるため、本件規則を一部改正しようとするもの。

【補足説明】

- ・ 適応指導教室という表現は不登校児童生徒を持つ保護者からの「違和感を感じる」といった声を踏まえ、文部科学省が令和元年度に「教育支援センター」という名称に変更したことから、各市町村で設置している適応指導教室の名称変更が進んでいる。奥州市では、適応指導教室の通称を「フロンティア奥州」としていることから、規則の題名を奥州市フロンティア奥州指導員設置規則に改めるもの。
- ・ 適応指導教室をフロンティア奥州に改めることに伴い、指導員の職名を奥州市フロンティア奥州指導員に改めるもの。
- ・ 教育支援センターには、学校復帰だけでなく本人の社会的な自立を支援する施設であることが求められていることから、設置目的及び職務内容に「社会的自立の支援」を加えるもの。

【質疑等】

なし

【討論】

なし

採決の結果、原案どおり決することに全員異議なし

原案可決

《ここから秘密会、下線部非公開》

第4 議案第2号 令和5年度奥州市教育委員会表彰被表彰者について

松戸教育総務課長が議案を朗読、佐藤教育部長が提案理由を説明し、松戸教育総務課長が補足説明を行った。

【提案理由】

- ・ 本議案は、奥州市教育委員会表彰規則第3条第2号に規定する奥州市教育委員会表彰の被表彰者を決定するため、提出するもの。
- ・ 候補者の選考に当たっては、各学校や関係団体から推薦された児童生徒、個人、団体について、推薦母体や個人と団体の区分等における重複の調整をした後、表彰者選考委員会において選考協議を行い、奥州市教育委員会表彰実施要綱別表に掲げる表彰の区分により、資料のとおり取りまとめた。
- ・ 表彰については、2月17日に開催する奥州市教育委員会表彰式で行うこととしている。

【補足説明】

- ・ ガイドラインにより児童生徒表彰の授与の基準等について説明
- ・ 候補者名簿により候補者について説明

【質疑等】

なし

採決の結果、原案どおり決することに全員異議なし

原案可決

《ここまで秘密会》

第5 協議事項 令和6年度教育行政方針（案）について
高橋教育長が協議事項を説明し、千田教育総務課長補佐が方針案の朗読により説明を行った。

【説明】

- ・ 本案は、令和6年度の教育行政の主要な施策について述べるもので、その内容について協議をお願いするもの。
- ・ 本日頂いた御意見を踏まえて調整し、市長の施政方針の内容との整合性を図った上で最終的な決定としたい。

【意見等】

吉田委員

「I 未来を拓く人を育てる学びの人づくり」で「『生きる力』を育む学校教育の充実」について申し上げます。の後に「1つ目は、「学校教育の充実」であります。」となっているが、なんとなく語呂が悪い感じがする。1つ目だけで終わり、2つ目の「社会の変化に対応した教育環境の推進」が別のものに受け取られるような感じがする。また、前年は「一人ひとり」の表記であったが、漢字で「一人一人」としている。先般の教育研究所の発表では「一人ひとり」としていたので、統一した方がよい。

千田教育総務課長補佐

教育行政方針の構成は、市の総合計画の体系に合わせたものであり、このままとしたい。また、「一人一人」は、文部科学省用字用語例で「一人一人」とされていることから漢字表記にした。

松本委員

「同僚性」とは、誰に係っているものか。子ども同士なのか、教師と保護者なのか。子ども同士に同僚性を使うのは違和感を感じる。

吉田学校教育課長

教師の同僚性という意味である。人間関係づくりの部分は子どもたちを指しており、同僚性は教師のことである。

高橋教育長

教育委員会の指針の4つの土台のうちの1つであり、その指針では同僚性の詳細がうたわれている。この表現を変えるわけにもいかず、方針で説明するわけにもいかない。

高橋委員

令和6年度はフロンティア奥州を2か所開設するが、指導員の配置は十分なのか。また、今年度は江刺への通級者が少ないようだが、来年度は通級者の見込みはあるのか。

吉田学校教育課長

指導員について、現在は水沢の2名体制で対応している。来年度は、江刺に新たに2名で計4名の指導員で対応する予定である。今年度の江刺は、月1回で総合支所の会議室を使ったものであることから環境的に難しい状況であった。今月は1人であったが、元々水沢に通っていた中学3年生である。今後の見通しとして、2月、3月のうちに主に岩谷堂小学校及び江刺第一中学校で欠席の多い児童生徒の保護者に対してリーフレット等を配布しながらアピールする。特に江刺第一中学校の別室登校の生徒の中には、時々しか来ない生徒もいるので併用しながら学校復帰、社会的自立を目指すよう呼び掛けていこうと考えている。水沢、江刺とタイプの違う施設になるので、水沢から江刺に通う児童生徒も出てくると思う。

高橋委員

月曜日から金曜日までの5日間開催する予定か。

吉田学校教育課長

水沢は月曜日から木曜日までの4日間で、金曜日は学校へ行きましょうという設定である。江刺はまだはっきり決めてはいないが、水沢と同じに考えている。

菊地委員

郷土芸能祭の開催を工夫するなど、とあるが具体的な工夫はあるのか。また、むすびの「社会の多様化、複雑化が進む中、様々な社会問題が存在し深刻化しており、教育の果たす役割はますます重要になっております。」は、教育の広がりのようなものが感じられ、とてもよいと思った。

小野寺歴史遺産課長

これまでは発表だけであったが、令和6年度の郷土芸能祭では、発表後にお客さんと交流などができるような形で、それが民俗芸能団体の保存、発展に繋がるようにしたいと考えている。

※ 本日の協議を踏まえ、事務局において再度調整することとし、最終調整は教育長への委任事項とすることとした。

※ 令和6年度教育行政方針は、令和6年2月5日の庁議で決定され、同年2月16日招集予定の令和6年第1回市議会定例会において発言する。

閉会